

2020年7月版

～次に読む本や読書感想文の本に～
流山市立図書館で借りられる

📖 おすすめの本 📖

5・6年生
むけ

夏休みにぴったりの本を、
たくさん選んでみました！
おもしろい本で、長い夏休みを
楽しんでみませんか？

※請求記号は、本の背表紙についている記号です。
本を探す手がかりにしてみてくださいね♪

本の名前	書いた人	出版社	請求記号
進化のはなし	スティーブ・ジェンキンス ／作	評論社	Eシエ
ひとすじの光	ウォルター・ウィック／ 文・写真	小学館	425
ぼくがゆびをぱちんとならし て、きみがおとなになるまえの 詩集	齊藤 倫／著 高野 文子／画	福音館書店	911.5 サイ
キャプテンマークと銭湯と	佐藤 いつ子／作	KADOKAWA	913 サト
八月のひかり	中島 信子／著	汐文社	913 ナカ
いつか、太陽の船	村中 李衣／作	新日本出版社	913 ムラ
あしながおじさん	ジーン・ウェブスター／作	岩波書店	933 ウエ
シャイローがきた夏	フィリス・レイノルズ・ネ イラー／著	あすなろ書房	933 ネイ
やかまし村の子どもたち	アストリッド・リンドグレ ーン／作	岩波書店	949 リン
桜の木の見える場所	パオラ・パレッティ／作	小学館	973 ハレ

『お江戸の百太郎』

那須 正幹/作

岩崎書店 913ナス

百太郎は、大仏の千次という岡っ引きの息子。父親の捕りものうでがさっぱりなのに、百太郎の推理力と行動力は大したもの、まるで江戸時代の名探偵コナンのです。

「お千賀ちゃんがさわれた」「道をきくうれい」などハラハラドキドキのおはなしが4つ楽しめます。当時の文化も細かく描かれていて、自分も江戸時代にいる気分になりますよ。

『希望の図書館』

リサ・クライン・ランサム/作

松浦 直美/訳 ポプラ社 933クラ

1946年、アメリカ南部のアラバマに住んでいたラングストンは父さんといっしょにシカゴに引っ越した。母さんから黒人は図書館に入れないと聞かされていたが、ある日だれでも自由に入れる図書館を見つける。ラングストンは図書館で自分と同じ名前の詩人を見つけて、慣れない環境の心の支えになると、周りの人との関係も変化していく。

『ゆかいな床井くん』

戸森 しるこ/著

講談社 913トモ

6年になって暦は床井君と席がとなりになった。床井君の名前は歴。名前は似てるけど、暦は背が高く、床井君は背が低い。クラスには色々な子がいて色々な事がおきる。そんなとき床井君が発する一言で暦は自分とは別の考えもあるんだなあと思う。床井君はイやつだ。

『子どもたちへ、今こそ伝える戦争』

長 新太、ほか/著

講談社 210

子どもの本の作家19人が、戦争で体験したことを絵や文でつづっています。中には皆さんよりも若い年齢で起きたことも書かれており、どんな生活をおくっていたのか、空襲のときはどんな思いをしたかなど、戦争で起こったことがより身近に感じられます。巻末には年表や楽譜などの資料も掲載。

『地図でみる日本の地震』

山川 徹/文

偕成社 453

2011年3月11日に発生し、多くの被害をもたらした東日本大震災。

なくなった人の約9割が津波にのみこまれた溺死だったそうです。千葉県浦安市などの埋め立て地では、地下から水があふれだす、液状化現象が起きました。この本は、都道府県別に、地震の特徴や被害の大きさ等がわかりやすく書かれています。読んでほしい一冊です。

『名探偵ホームズ 踊る人形』

アーサー・コナン・ドイル/著 千葉茂樹/訳

ヨシタケシンスケ/絵 理論社 933トイ

19世紀イギリスを舞台に名探偵シャーロック・ホームズと相棒のワトソン博士が事件を解決するお話を四篇集めた短編集。

「ワトソンの推理修行」では、アツと驚くこと間違いなしの名推理がさく裂します！

あなたもホームズとワトソンと一緒に、四つの奇妙な事件の謎を解き明かしてみませんか？